



インストラクション

94100150

2021-10-01



プライマリーアンプ取り付けキット(部品番号76000974、76001045)

表1。

RockfordFosgate®社製のハーレーダビッドソンオーディオ		
キット	推奨ツール	スキルレベル
76000974、76001045	安全メガネ、トルクレンチ、パワードリル、ドリルビットセット13/64または0.203インチ指定)、マスキングテープ、デバリングツール、イソプロピルアルコール、クリーンショップラグ、21/2インチホールソー	

キット内容

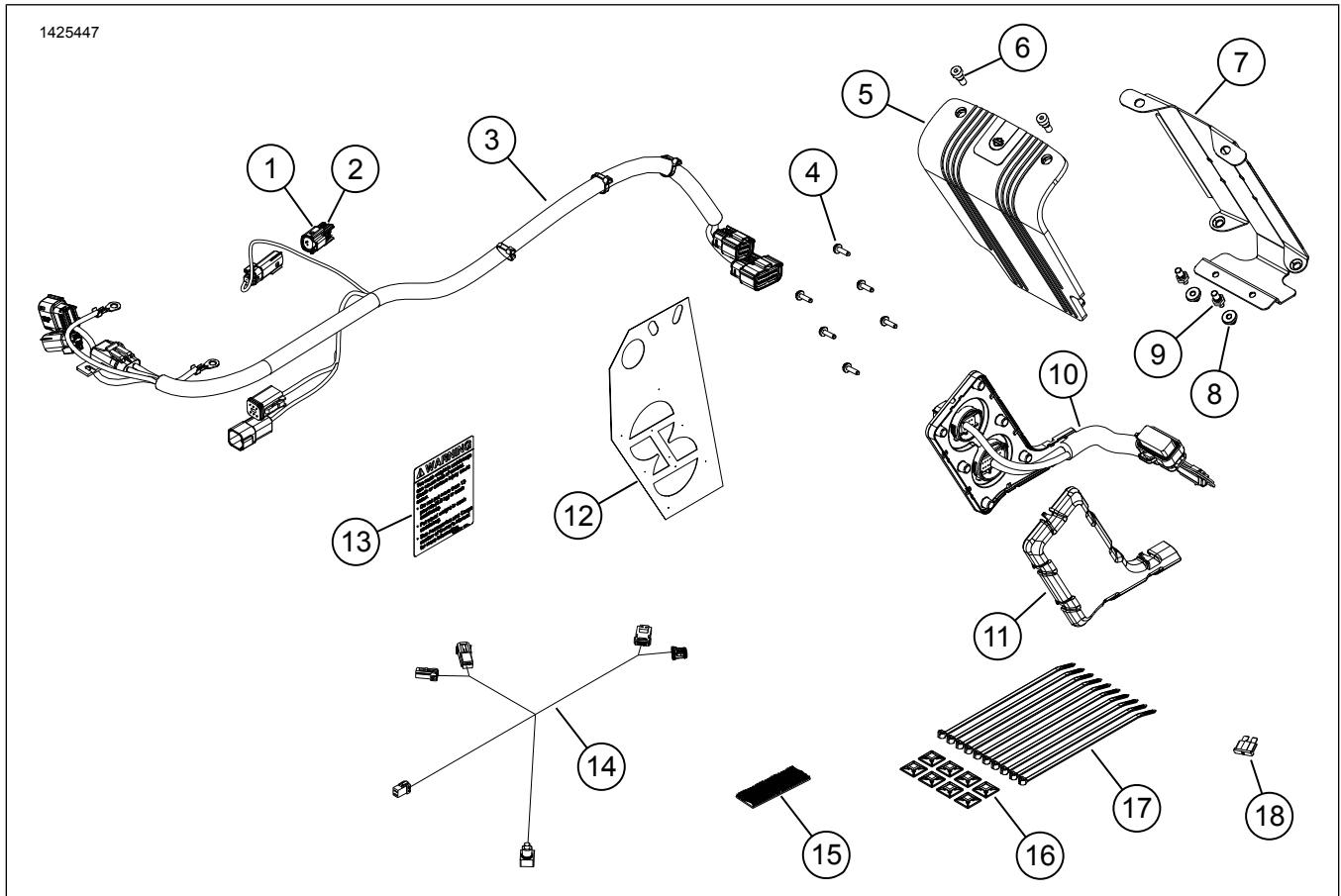


図1。交換用パーツ: プライマリーアンプキット

表2。交換用パーツ一覧:プライマリーアンプキット

<input checked="" type="checkbox"/>	アイテム	数量	説明	部品番号	注記:
<input type="checkbox"/>	1	1	コネクタ、2方向	69200271	
<input type="checkbox"/>	2	2	ピンシール	72473-07	
<input type="checkbox"/>	3	1	サドルバッグハーネス、外部	別売りなし	
<input type="checkbox"/>	4	6	スクリュー、パンヘッドTORX™、T15	10200065	
<input type="checkbox"/>	5	1	アンプカバー	76000994	
<input type="checkbox"/>	6	2	スクリュー、ソケットヘッド、1/4-20	10201064	
<input type="checkbox"/>	7	1	アンプマウントブラケット、左サドルバッグ	76001004	
<input type="checkbox"/>	8	2	グロメット、アンプマウントブラケット	12100052	
<input type="checkbox"/>	9	2	スタッドピン、1/4-20	12600305	
<input type="checkbox"/>	10	1	サドルバッグハーネス、内部	別売りなし	
<input type="checkbox"/>	11	1	ワイヤーハーネスカバー	76000995	
<input type="checkbox"/>	12	1	穴開けテンプレート	76001009	
<input type="checkbox"/>	13	1	ラベル、サドルバッグ容量	14002201	
<input type="checkbox"/>	14	1	ハーネス、ブルートゥース®ドングル	69202641 69202657	2017年以降のTouringモデル 2014~2016年式Touringモデル
<input type="checkbox"/>	15	1	デュアルロック	76434-06	
<input type="checkbox"/>	16	8	リテーナー、ワイヤー	69200342	
<input type="checkbox"/>	17	10	ケーブルストラップ	10006	
<input type="checkbox"/>	18	1	ヒューズ、40アンペア	72371-95	

注記

車両からアイテムを取り付けたり取り外したりする前に、全ての内容物がキット内にあることを確認します。

概略

注記

新しく取り付けられたオーディオシステムとスピーカーは、ハーレーダビッドソンのオーディオアプリを使っていない、またはハーレーダビッドの公認ディーラーで設定されていない場合、オーディオを再生しません。

注記

様々なジェネレーションのハーレーダビッドソン車両用スピーカー、アンプ、配線が、一緒に動作するように設計またはテストされていません。適合の推奨事項についてはP&Aカタログを参照し、最適なパフォーマンスと互換性を確保するために販売代理店にご相談ください。

Bluetooth ドングルはオーディオ通信コンポーネントです。H-Dオーディオアプリと組み合わせることで、アンプやスピーカーチャンネルの割り当て、追加のイコライザーで周波数範囲を広げて、音質を高めることができます。ドングルは、お使いの携帯電話と車両用ラジオ間の通信デバイスとして使用できません。

適合モデル

*モデルの適合性については、純正 P&A カタログまたはwww.harley-davidson.comのパーツ&アクセサリページ(英語版のみ)をご覧ください。

下記のページで入手できる最新版のインストラクションシートを必ず使用してください。h-d.com/isheets

ハーレーダビッドソン社のカスタマーサポートセンター(1-800-258-2464(米国内のみ)または1-414-343-4056)にお問い合わせください。

電気系統の過負荷

▲警告

電気系統アクセサリを取り付ける場合、影響を受ける回路を保護するヒューズまたは回路ブレーカーの最大アンペア数を超えないよう注意してください。最大アンペア数を超えると、電気的な不具合が生じ、死亡したり重傷を負う場合があります。(00310a)

電気アクセサリを装着し過ぎると、車両の充電システムに過剰な負荷がかかる可能性があります。複数の電気系統アクセサリが同時に作動し、それらの消費電流量が車両の充電システムで供給できる電流量の総量を超えた場合、バッテリーが放電し、車両の電気系統に損傷を与えるおそれがあります。(00211d)

このアンプには、電気系統から最大で8Aの追加電流が必要です。

取り付け要件

ハーレーダビッドソンオーディオアプリをダウンロードしてください。

このキットは、RockfordFosgate®を搭載した他のハーレーダビッドソンオーディオキットと組み合わせて使用してください。

サドルバッグの表面にアンプマウントブラケットを適切に取り付けるためには、接着プロセスは少なくとも24時間硬化させる必要があります。

6または8スピーカー操作でセカンダリーアンプを取り付ける場合は、接続する前にすべてのスピーカーコンポーネントが取り付けられてからにします。適切なスピーカーまたはハーネスキットのインストールシートを参照してください。

これらの配線は、2014年以降のハーレーダビッドソンオーディオシステムでのみご使用になれます。

これらのアイテムは、ハーレーダビッドソン販売代理店でご購入いただけます：

- ・ 2014年以降のFLHTKSE、FLTRUSE、Touring: 取り付けには、ハーレーダビッドソンセカンダリーアンプ取り付けキット(部品番号76000975)の別途購入が必要となる場合があります。これは、6つ以上のスピーカーがあるかどうか、およびアンプチャンネルがどのように割り当てられているかによって異なります。
- ・ 2014年および2016年式FLHTKSE、FLTRUSEおよびTouring: ハーレーダビッドソンパワーエクステンションハーネス(品番69200921)の別途購入が必要になる場合があります。複数の電気系統のアクセサリが車両に取り付けられている場合にこれを使用します。
- ・ 2017年以降のFLHTKSE、FLTRUSE、およびTouring: ハーレーダビッドソンパワーエクステンションハーネス(部品番号69201706)の別途購入が必要になる場合があります。複数の電気系統のアクセサリが車両に取り付けられている場合にこれを使用します。
- ・ 2014年以降のFLHTKSE、FLTRUSE、Touring: 取り付けには、ハーレーダビッドソンプライマリアンプとドングルキット(部品番号76000997)を別途購入していただく必要があります。
- ・ 2021年以降のFLHXSEとFLTRXSE: この取り付けのためには、ハーレーダビッドソンルートウースドングル(部品番号41000771)の別途購入が必要です。ハーレーダビッドソンオーディオアプリで使用。
- ・ 2021年以降のFLHXSEとFLTRXSE: この取り付けのためには、ハーレーダビッドソンデュアルロックテープ(部品番号76434-06)の別途購入が必要です。

ライダーおよびパッセンジャーの安全を守るため、キットは正しく装着してください。サービスマニュアルを参照しながら、適切な手順に従ってください。自分で作業を行うことが難しい場合、または適切な工具を持っていない場合は、最寄りのハーレーダビッドソン正規販売網店に取り付けを依頼してください。本キットを正しく取り付けないと死亡したり重傷を負うおそれがあります。(00333b)

ハーレーダビッドソンの販売代理店での技術者による取り付けをお勧めします。

準備

注記

この取り扱い説明書はサービスマニュアルの記載情報を参照しています。このキットを取り付けるには、該当する年式/モデルのサービスマニュアルが必要です。マニュアルはハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店で入手できます。

1. サドルバッグを取り外します。
2. サイドカバーを取り外します。
3. メインヒューズを取り外します。
4. シートを取り外します。
5. フューエルタンクを取り外します。
6. 左サイドキャディを取り外します。
7. トップキャディを取り外す。
8. 下部バックボーンキャディを取り外します。
9. フォークマウントフェアリング：
 - a. ウィンドシールドを取り外します。
 - b. アウターフェアリングを取り外します。
 - c. ダッシュパネルを取り外します。
10. フレームマウントフェアリング：
 - a. スピーカーグリルを取り外す。
 - b. アウターフェアリングを取り外します。

サドルバッグ

注記

塗装面を傷めないように細心の注意を払ってください。

1. 図2を参照してください。左サドルバッグ(2)にドリルテンプレート(1)を配置します。
 - a. テープを使用してテンプレートを固定する。

注記

右サドルバッグは修正しないでください。

図2を参照してください。左サドルバッグを修正します(2)。

- a. テンプレートのセンターにパンチドリル位置をおきます。
- b. 内部ハーネス穴: 21/2インチホールソーを使用します。
- c. スクリュー穴: 5.15mm (13/64インチ) ドリルビットを使用します。
- d. 図3を参照してください。材料の角を丸く削ります(3)。
- e. 表面を軽くサンディングして穴を掘る。
- f. 50～70%のイソプロピルアルコールと30～50%の蒸留水の混合液で、車体の表面を全てきれいにします。完全に乾燥させます。

3. 図1を参照してください。サドルバッグ容量ラベル(13)を取り付けます。

- a. 現在のラベルの上につけます。

4. 図5を参照してください。グロメット(3)をアンブマウントブラケット(4)に取り付けます。

5. スタッドピン(2)をアンブ(1)に取り付けます。締め付ける。

トルク: 9-12 N·m (80-106 in-lbs) アンブスタッドピン

6. 図7を参照してください。内部ハーネスコネクタ(4)をアンブ(2)に接続します。

7. アンブ(2)をアンブマウントブラケット(3)に取り付けます。

8. 図9を参照してください。アンブカバー(2)を取り付けます。

9. スクリュー(1)を取り付けます。締め付ける。

トルク: 9-12 N·m (80-106 in-lbs) アンブカバースクリュー

10. 図7を参照してください。ワイヤーハーネスカバー(6)を取り付けます。

11. 図3を参照してください。内部ハーネス(2)を取り付けます。

12. 注記

内部ハーネスがサドルバッグの穴に合わない場合は、穴のサイズを6.35mm (1/4-in.) ドリルビットを上限に大きくします。デバリングときれいなサドルバッグ。

スクリュー(1)を取り付けます。締め付ける。

トルク: 1.1-1.5 N·m (10-13 in-lbs) 内部ワイヤーハーネススクリュー

13. 図8を参照してください。アンブマウントブラケットアセンブリーを取り付けます。

a. 図4を参照してください。マウントブラケットアセンブリーの適合テスト。ブラケットは、真っ直ぐ、中央に、そして可能な限りサドルバッグの底部に近づける必要があります。

b. 図6を参照してください。マウントブラケット(1)のスリットを使用して、揺れることなくサドルバッグの輪郭(2)に合うように曲げます。これにより、テープとの接触と密着性が向上します。この時点ではテープを剥がさないで下さい。

c. 図4を参照してください。ブラケットが、真っ直ぐ、中央に、そして可能な限りサドルバッグの底部に近づいていることを確認し、最終位置の適合テストをします。

d. マーカー、マスキングテープ、または鉛筆を使用して、取り付け位置に印をつけます。

注記

図7を参照してください。ワイヤーハーネスバンドルが、バインドやキンキングを使用せずに、アンブの下の領域にルーティングされていることを確認します。バンドルが、ワイヤーハーネスカバー(6)を内部ハーネス(5)から引き離さないようにします。

e. マウントブラケットアセンブリーからテープを剥がします。

注記

一旦ブラケットが所定の位置にテープで貼られると、ブラケットを損傷することなく取り外すのは非常に困難になります。

f. 印をつけた場所にマウントブラケットアセンブリーを取り付けます。

g. サドルバッグを端に立て、テープを少なくとも24時間硬化させます。

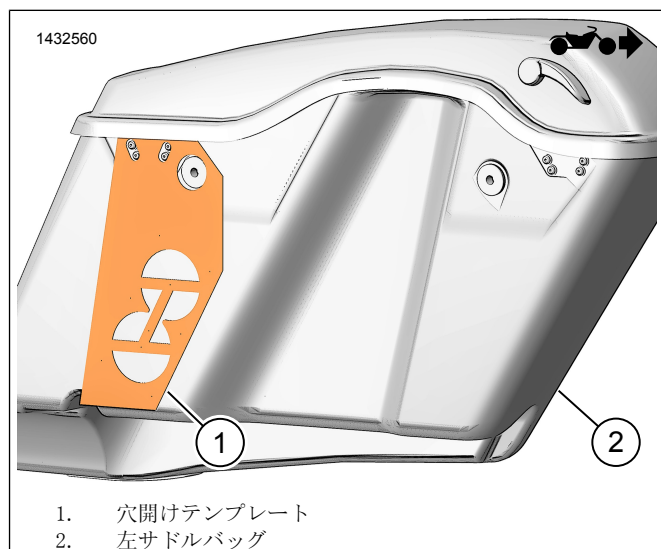


図2。左サドルバッグテンプレート

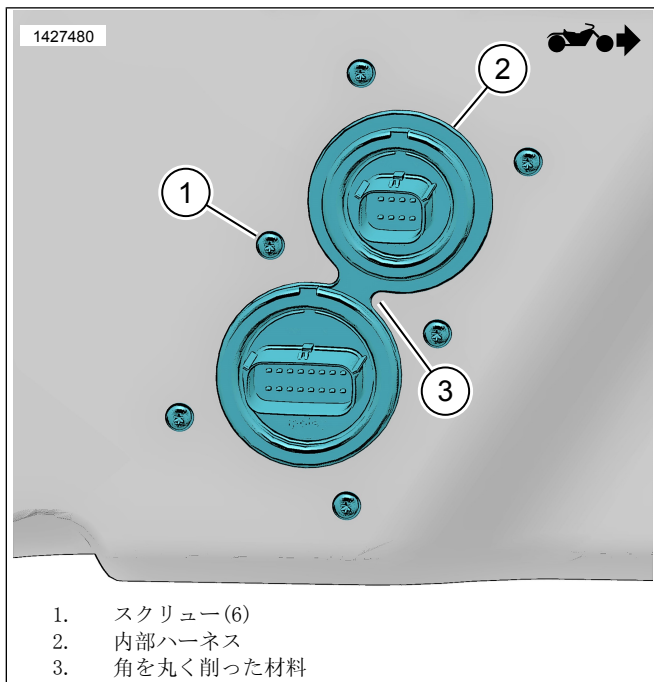


図3。インナーハーネス

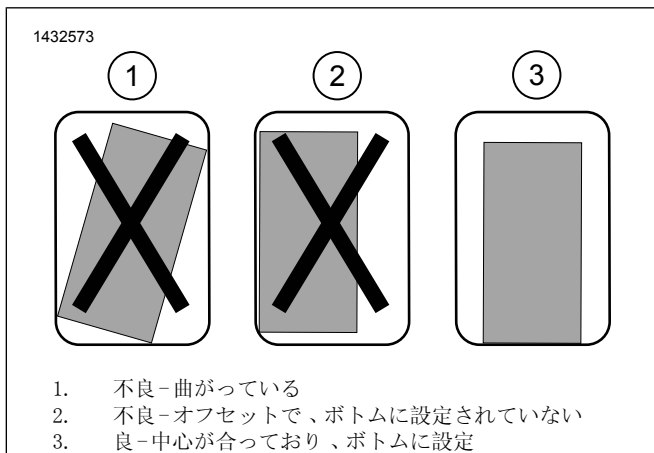


図4。マウントブラケットの取り付け

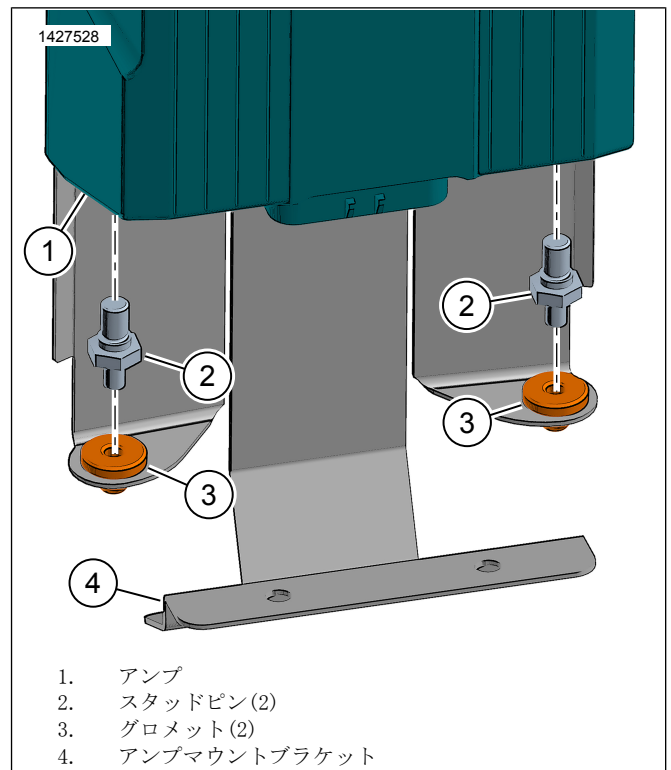


図5。アンプスタッドピン

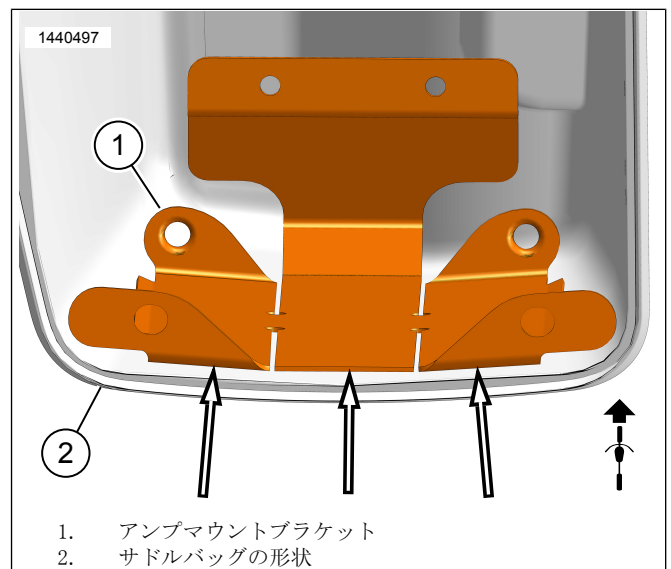


図6。サドルバッグの形状

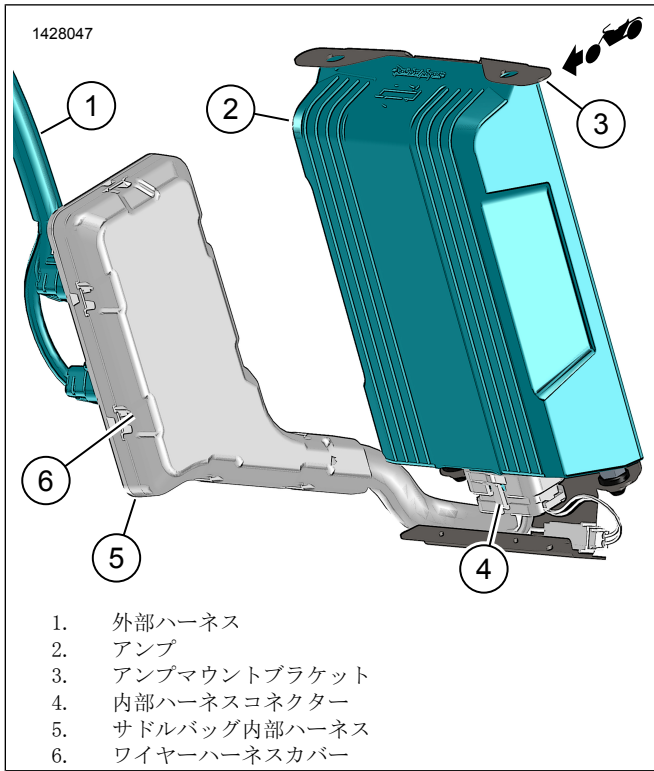


図7。左サドルバッグアンプの組み立て

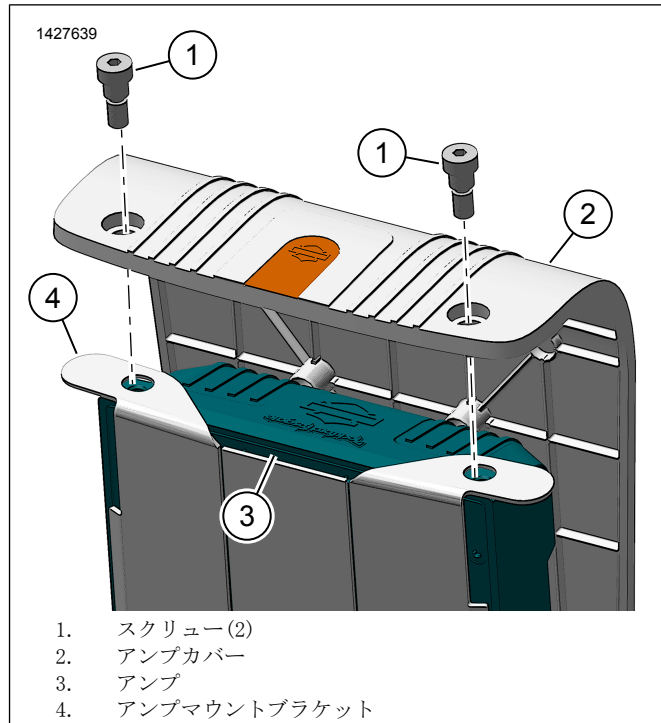


図9。アンプカバー

外部ハーネス

2014年-2016年Touring

注記

6または8スピーカー操作でセカンダリーアンプを取り付ける場合は、接続する前にすべてのスピーカーコンポーネントが取り付けられてからにします。適切なスピーカーまたはハーネスキットのインストールiSheetを参照してください。

- 図10を参照してください。フレームに沿って外部サドルバッグハーネスをルーティングします。ケーブルストラップを使用して、ハーネスをアンカーポイント(1)にゆるく取り付けます。ケーブルストラップをきつく締めないようにしてください。
- サドルバッグをマウントしてハーネスの長さを確認します。サドルバッグに簡単に接続するのに十分な長さを残します。
- 図11を参照してください。ハーネスブランチ[350A](6)をバッテリーボックス領域へルーティングします。

4. 注記

図12を参照してください。セカンダリーアンプが取り付けられていない場合は、シールピン(9)をキャップ(8)に挿入し、コネクター[350A](7)に接続します。

セカンダリーアンプを取り付ける場合は、[350A](7)をセカンダリーアンプコネクターに接続します。

図12を参照してください。データリンクコネクター(12、13)を左側のキャディ領域に向けてルーティングします。

- 図11を参照してください。バッテリーの前と右側のカバーに向かってアイテム1-5をルーティングします。
- マイナスバッテリーワイヤー(2)を接続します。

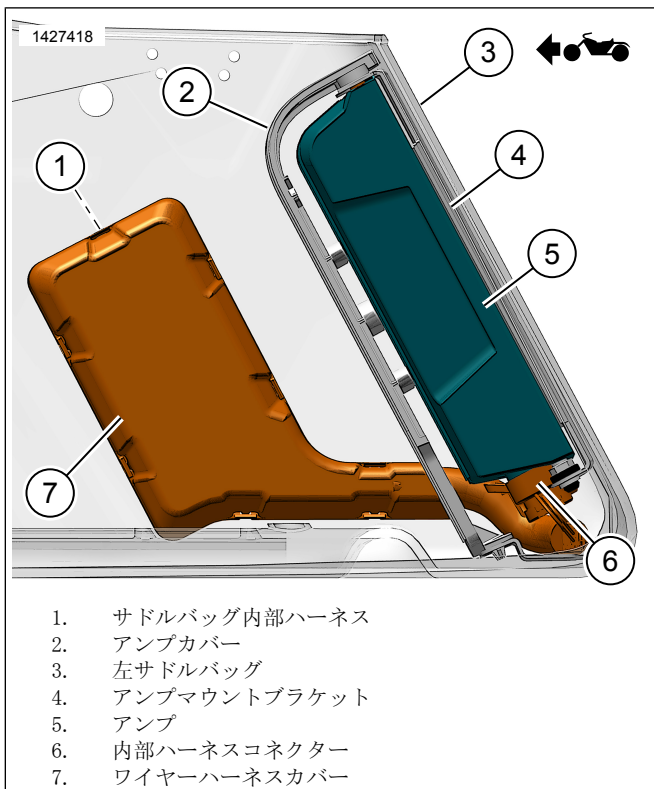


図8。アンプ付きサドルバッグハーネス

7. プラスバッテリーワイヤー(1)を接続します。
8. ケーブルストラップ付きのアンプヒューズホルダー(3)を固定します。
9. 左側キャディでデータリンクコネクタ[91A]を配置します。サービスマニュアルを参照してください。

10. **注記**

ボディコントロールモジュール(BCM)からコネクタを取り外さないで下さい。BCMコネクタの接続を外す必要がある場合は、メインヒューズが取り外されていることを確認してください。

ロックングタブを持ち上げる。左側キャディの外に、ついているコネクタと一緒にBCMをスライドさせます。

11. キャディからコネクタ[91A]を取り外します。
12. ウェザーキャップをコネクタ[91A]から取り外します。
13. 図12を参照してください。アンプハーネス[91B](12)のグレイのソケットハウジングを車両コネクタ[91A]に接続します。
14. 外部ハーネスから[91B]の上に[91A](13)を配置します。ケーブルストラップで固定します。
15. 車両[91A]から外部ハーネス「91A」にウェザーキャップを交換します。
16. 左側キャディに接続されたコネクタを使用してBCMを取り付けます。
17. 図12を参照してください。ヒューズ(4)をヒューズホルダー(3)に取り付けます。
18. 必要に応じてケーブルストラップで残りのハーネスを固定します。

19. **注記**

アンテナブラケットと上部サドルバッグコネクタの間にクリアランスの問題が発生した場合は、アンテナブラケットを緩め、フェンダー支持部のブラケットを再配置して、より大きくクリアランスを確保します。

ワイヤハーネスが十分固定されていて、動くコンポーネントと接触しないように確認してください。

図10を参照してください。外部サドルバッグハーネスをサドルバッグ上で内部ハーネス(2)に接続します。

20. サドルバッグを車両に取り付けます。

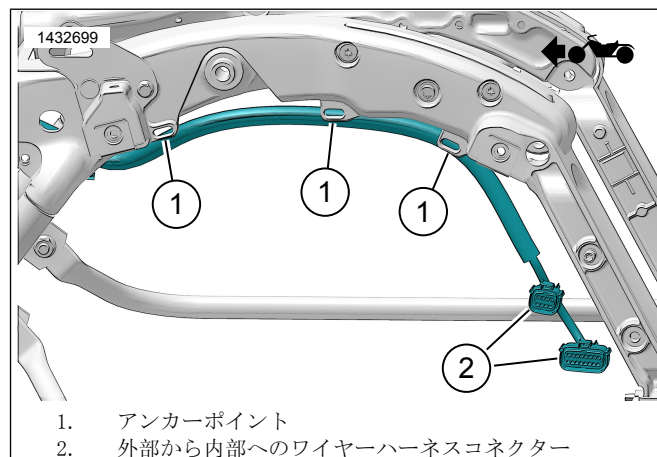


図10。外部ワイヤーハーネスの取り回し(標準)

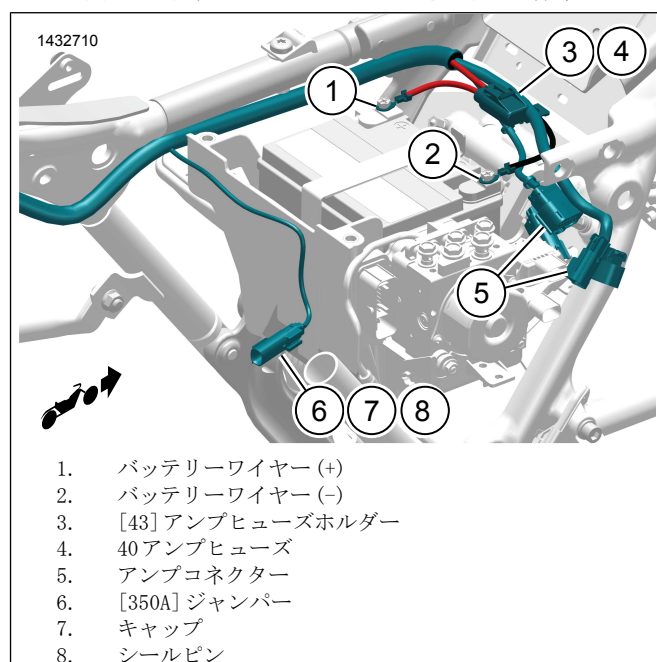
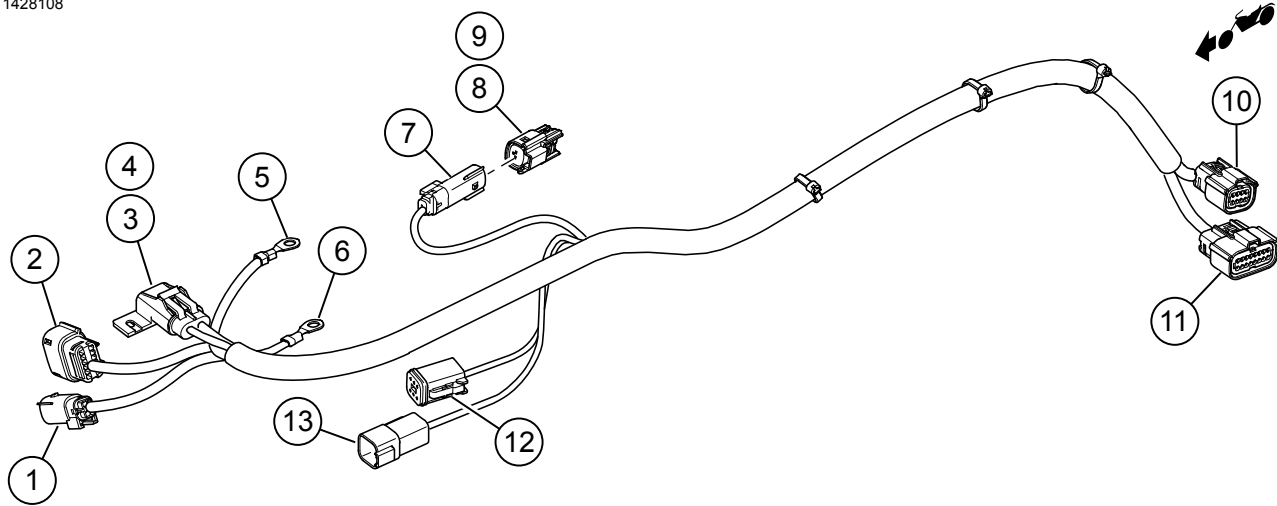


図11。外部ワイヤーハーネスの取り回し(標準)



- | | | | |
|----|-------------------------|-----|---------------------------|
| 1. | [351A]オーディオ出力(チャンネル3,4) | 8. | キャップ |
| 2. | [349B]アンプの入力/出力/有効 | 9. | シールドピン(2) |
| 3. | [43]アンプヒューズホルダー | 10. | [288B_2]左サドルバッグコネクタ(8ピン) |
| 4. | 40アンプヒューズ | 11. | [288B_1]左サドルバッグコネクタ(16ピン) |
| 5. | [005]バッテリーワイヤー(-) | 12. | [91B]データリンクコネクタ |
| 6. | [021]バッテリーワイヤー(+) | 13. | [91A]データリンクコネクタ |
| 7. | [350A]A2Bジャンパー | | |

図12。外部ハーネスコネクタ(2014年-2016年)

2017年式以降のツーリング:

注記

6または8スピーカー操作でセカンダリーアンプを取り付ける場合は、接続する前にすべてのスピーカーコンポーネントが取り付けられてからにします。適切なスピーカーまたはハーネスキットのインストールiSheetを参照してください。

1. 図10を参照してください。フレームに沿って外部サドルバッグハーネスをルーティングします。ケーブルストラップを使用して、ハーネスをアンカーポイント(1)にゆるく取り付けます。ケーブルストラップをきつく締めないようにしてください。

2. サドルバッグをマウントしてハーネスの長さを確認します。サドルバッグに簡単に接続するのに十分な長さを残します。

3. 注記

図13を参照してください。セカンダリーアンプが取り付けられていない場合は、シールドピン(10)をキャップ(11)に挿入し、コネクタ[350A](9)に接続します。

セカンダリーアンプを取り付ける場合は、セカンダリーアンプコネクタに接続します。

図11を参照してください。ハーネスブランチ[350A](6)をバッテリーボックス領域へルーティングします。

4. 注記

図13 2017年以降の外部ハーネスコネクタも参照してください。

図11を参照してください。バッテリーの前と右側のカバー領域にアイテム(1-5)をルーティングします。

5. マイナスバッテリーワイヤー(2)を接続します。

6. プラスバッテリーワイヤー(1)を接続します。

7. ケーブルストラップ付きのアンプヒューズホルダー(3)を固定します。

8. 図12を参照してください。ヒューズ(4)をヒューズホルダー(3)に取り付けます。

9. 必要に応じてケーブルストラップで残りのハーネスを固定します。

10. 注記

アンテナブラケットと上部サドルバッグコネクタの間にクリアランスの問題が発生した場合は、アンテナブラケットを緩め、フェンダー支持部のブラケットを再配置して、より大きくクリアランスを確保します。

ワイヤハーネスが十分固定されていて、動くコンポーネントと接触しないように確認してください。

図10を参照してください。外部サドルバッグハーネスをサドルバッグ上で内部ハーネス(2)に接続します。

11. サドルバッグを車両に取り付けます。

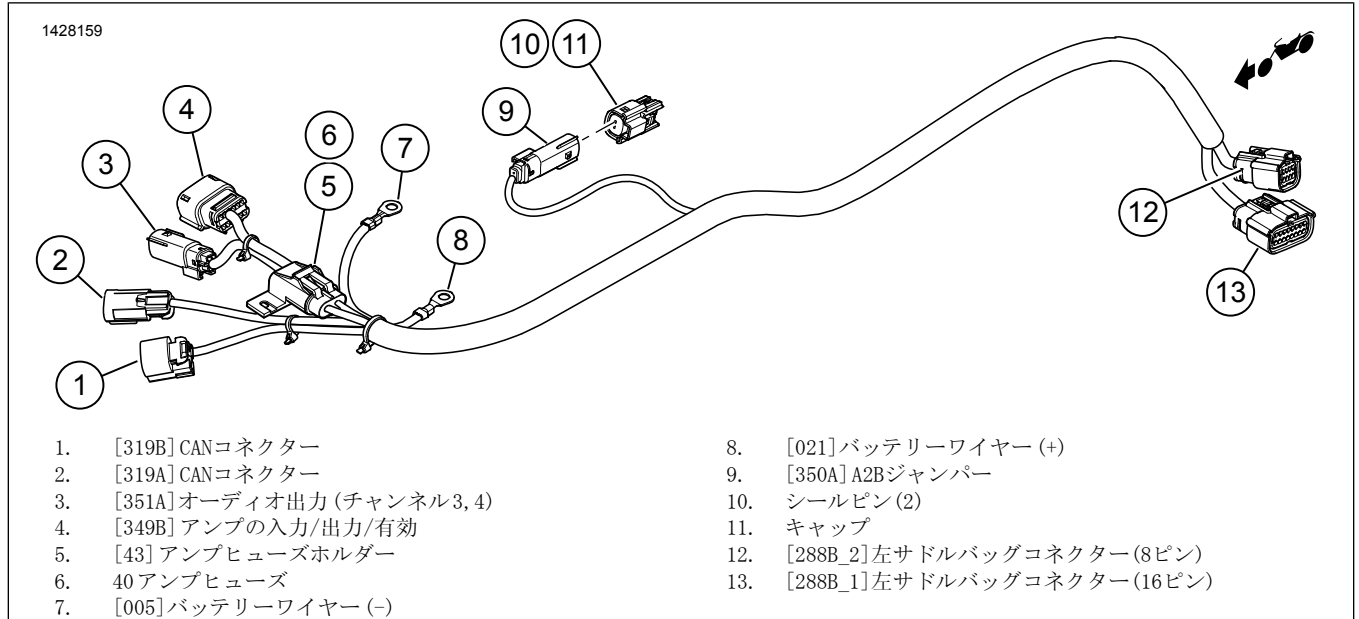


図13。外部ハーネスコネクタ (2017年以降)

Bluetooth ドングルハーネス (2014年-2016年)

注記

この手順は、FLHXSEモデルには適用されません。

Bluetooth ドングルはオーディオ通信コンポーネントです。H-Dオーディオアプリと組み合わせることで、アンプやスピーカーチャンネルの割り当て、追加のイコライザーで周波数範囲を広げて、音質を高めることができます。ドングルは、お使いの携帯電話と車両用ラジオ間の通信デバイスとして使用できません。

フォークマウントフェアリング

1. 図14を参照してください。フェアリングの下でBluetooth ドングルハーネスを取り付けてルーティング設置します。
2. 車両のコネクタを配置します: [22-1] と [299]。
 - a. コネクタの接続を外します。
3. ブルートゥースドングルハーネスを、ラジオの下にあるキャディの右側のハンドコントロールコネクタで車両に接続します。
 - a. ドングルハーネス「22-1A」から車両ハーネス「22-1B」へ。
 - b. ドングルハーネス「22-1B」から車両ハーネス「22-1A」へ。
 - c. ドングルハーネス「299A」から車両ハーネス「299B」へ。

注記

必要に応じて、部品番号69200921延長ハーネスを使用します。

- d. ドングルハーネス [299B] から車両ハーネス [299A] へ。

4. BluetoothドングルハーネスにBluetoothドングル(1)を接続します。
 - a. [353B] (2)。
 - b. デュアルロックテープ(8)でフェアリングサポート構造にドングル(1)を固定します。

5. 注記

新しいBluetoothデバイスが追加されたり、システムコンポーネントが故障した場合でない限り、車両からBluetoothコンポーネントへのペアリングは一度だけに行ってください。

Bluetoothドングル(1)は、一度に1つのモバイルデバイスに対してのみペアリングできます。ドングルは、オーディオアプリによって、またはハーネス上にあるペアスイッチ(7)を押すことで、ペアリングが解除できます。

車両運転中に誤って作動しないところにペアスイッチ(7)を取り付けます。

ペアスイッチ(7)をルーティングして固定します。

- a. ステアリングヘッド付近のフェアリングの内側。

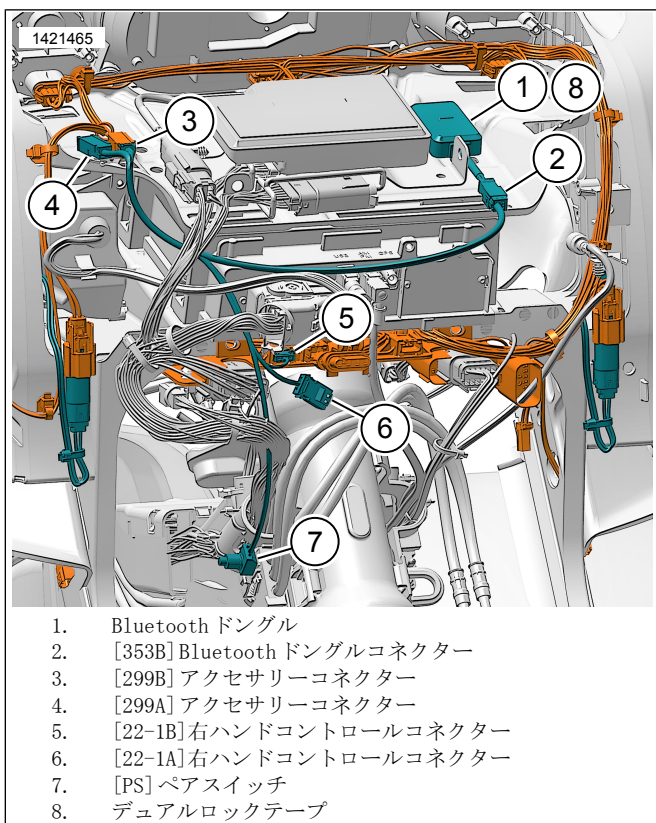


図14. フォークマウントフェアリングBluetooth Dongleハーネス (2014年-2016年)

フレームマウントフェアリング

1. 図15を参照してください。フェアリングの下でBluetooth Dongleハーネスを取り付けてルーティングします。
2. 車両のコネクタを配置します：[243]と[299]。
 - a. コネクタの接続を外します。
3. Bluetooth Dongleハーネスを車両に接続します。
 - a. Dongleハーネス「22-1A」から車両ハーネス「243B」へ。
 - b. Dongleハーネス[22-1B]からリターンループキャップ[243A]。
 - c. Dongleハーネス [299B] から車両ハーネス [299A] へ。

注記

必要に応じて、部品番号69200921延長ハーネスを使用します。

4. Bluetooth DongleハーネスにBluetooth Dongle (8)を接続します。
 - a. [353B] (7)。
 - b. デュアルロックテープ (9)でフェアリングサポート構造にDongle (8)を固定します。

5. 注記

新しいBluetoothデバイスが追加されたり、システムコンポーネントが故障した場合でない限り、車両からBluetoothコンポーネントへのペアリングは一度だけにしてください。

Bluetooth Dongle (8)は、1度に1つのモバイルデバイスに対してのみペアリングできます。Dongleは、オーディオアプリによって、またはハーネス上にあるペアスイッチ (3)を押すことで、ペアリングが解除できます。

車両運転中に誤って作動しないところにペアスイッチ (3)を取り付けます。

ペアスイッチ (3)をルーティングして固定します。

- a. 右ピーカーグリル下

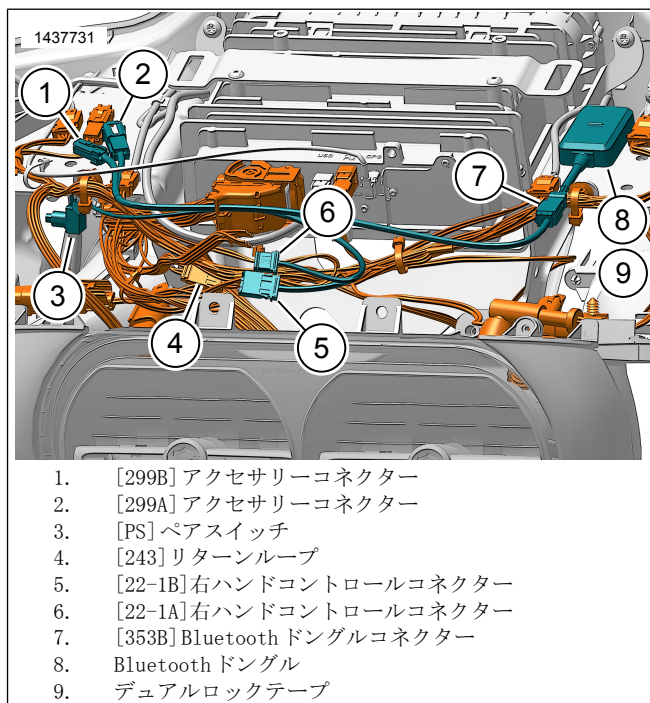


図15. フレームマウントフェアリングBluetooth Dongleハーネス (2014年-2016年)

Bluetooth Dongleハーネス (2017年以降)

注記

この手順は、CV0モデルの場合とまったく同じです。

Bluetooth Dongleはオーディオ通信コンポーネントです。H-Dオーディオアプリと組み合わせることで、アンプやスピーカーチャンネルの割り当て、追加のイコライザーで周波数範囲を広げて、音質を高めることができます。Dongleは、お使いの携帯電話と車両用ラジオ間の通信デバイスとして使用できません。

1. 図16を参照してください。Bluetooth Dongleハーネスを取り付けてルーティングします。
2. 車両のコネクタを配置します：[319]と[325]。
 - a. キャップと終端抵抗からコネクタの接続を外します。

3. 2021以降のFLHXSE/FLTRXSEモデルのみ:

- a. ドングルハーネス [319B] を車両 [319A] に接続します。
- b. ドングルハーネス [319B] を終端抵抗キャップに接続します。

4. 注記

必要に応じて、品番 69201706のエクステンションハーネスを使用します。

アンプハーネスを車両へ接続します。

- a. アンプハーネス [319A] から車両 [319B] へ。

5. Bluetoothドングルハーネスをアンプハーネスと車両に接続します。

- a. ドングルハーネス [319A] からアンプハーネス [319B] へ。
- b. ドングルハーネス [319B] から終端抵抗キャップ [319A] へ。
- c. ドングルハーネス [325A] から車両 [325B] へ。

注記

必要に応じて、品番 69201706のエクステンションハーネスを使用します。

6. BluetoothドングルハーネスにBluetoothドングル(1)を接続します。

- a. [353B] (2)。

- b. デュアルロックテープ(7)で右側カバーの背面にドングル(1)を固定します。

7. 注記

新しいBluetoothデバイスが追加されたり、システムコンポーネントが故障したりしない限り、車両からBluetoothコンポーネントへのペアリングは一度だけしてください。

Bluetoothドングル(1)は、1度に1つのモバイルデバイスに対してのみペアリングできます。ドングルは、オーディオアプリによって、またはハーネス上にあるペアスイッチ(3)を押すことで、ペアリングが解除できます。

車両運転中に誤って作動しないところにペアスイッチ(3)を取り付けます。

ペアリングスイッチ(3)をルーティングして固定します。

- a. フレームマウント: 右スピーカーグリル下。
- b. フォークマウント: 右側カバー下。

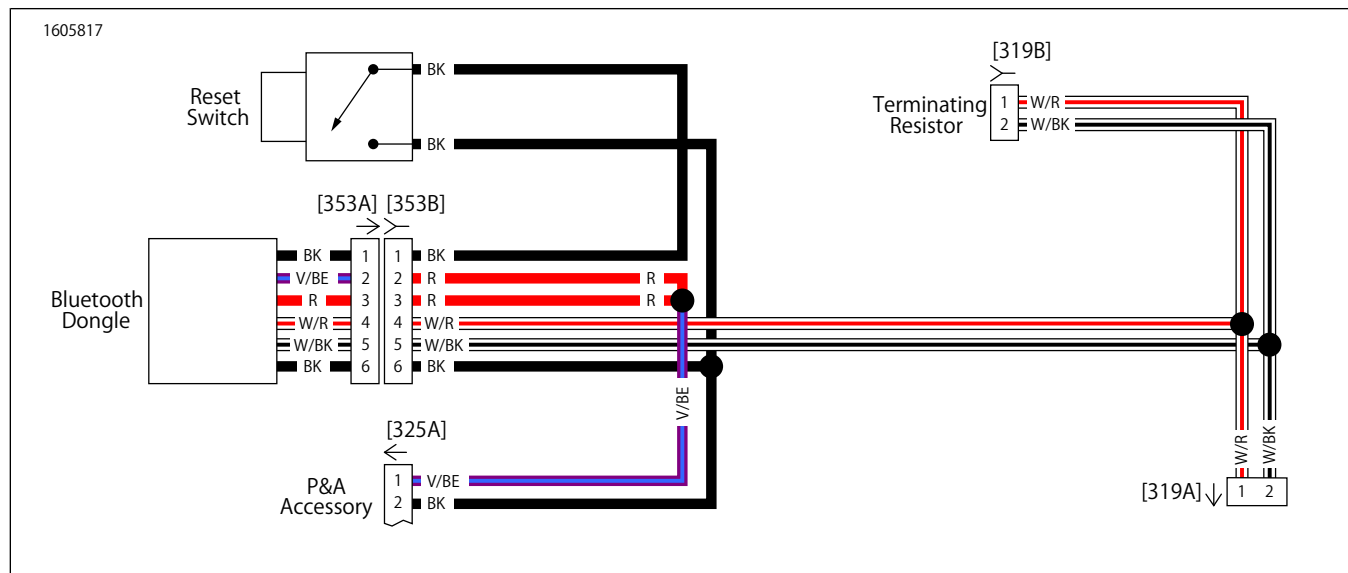


図16。Bluetoothドングルハーネス(2017年以降)(標準)

Bluetoothドングルハーネス(2021年以降FLHXSE/FLTRXSE)

Bluetoothドングルはオーディオ通信コンポーネントです。H-Dオーディオアプリと組み合わせることで、アンプやスピーカーチャンネルの割り当て、追加のイコライザーで周波数範囲を広げて、音質を高めることができます。ドングルは、お使いの携帯電話と車両用ラジオ間の通信デバイスとして使用できません。

1. ハーレーダビッドソンプルートゥースドングル、ブルートゥースドングルワイヤーハーネス、デュアルロックテープの別途購入。取り付け要件を概略でご確認ください。

2. インストール手順については、BLUETOOTHドングルハーネス(2017年以降)を参照してください。

スピーカー接続

注記

サドルバッグスピーカーがある場合は、左サドルバッグスピーカーハーネスを[351A]に接続します。

プライマリアンプのみで、サドルバッグスピーカーがない場合は、ツアerpックまたはフェアリングローラーを[351A]に接続することができます。

サドルバッグスピーカーにセカンダリーアンプがない場合は、ツアーパックおよび/またはフェアリングローワースピーカーは[351a]または[352a_1]または[352a_2]のいずれかに接続することができます。

チャンネル1および2

フェアリング:フォークまたはフレームマウント

1. キットに関する配線および接続については、フェアリングスピーカーの取り付けキットを参照してください。
2. チャンネル1: 左フェアリングスピーカー。
3. チャンネル2: 右フェアリングスピーカー。
4. フェアリングスピーカーワイヤーハーネスを外部ハーネス[349B]に接続します。

チャンネル3および4

フェアリングローワー、サドルバッグリッドまたはツアーパック

1. キットに関する配線および接続については、適切なスピーカーの取り付けキットを参照してください。
2. チャンネル3: 左スピーカー。
3. チャンネル4: 右スピーカー。
4. **注記**
[351A]への接続は、サドルバッグ、ツアーパックまたはフェアリングローワーのいずれかに行われます。

適切なキットのワイヤーハーネスを外部ハーネス[351A]に接続します。

表3。アンプチャンネルの設定

設定	チャンネル	フェアリングスピーカー	サドルバッグスピーカー	ツアーパックスピーカー	フェアリングロアスピーカー
プライマリーアンプ	1と2	X			
	3と4		X	X	X

アプリのセットアップ

注記

新しいBluetoothデバイスが追加されたり、システムコンポーネントが故障した場合でない限り、車両からBluetoothコンポーネントへのペアリングは一度だけに行ってください。

Bluetooth Dongleは、1度に1つのモバイルデバイスとだけペアリングできます。Dongleは、オーディオアプリによって、またはハーネス上にあるペアスイッチを押すことで、ペアリングが解除できます。

個人識別番号(PIN) (PIN) を忘れた場合、またはロックしてしまいリセットしなくてはいけない場合は、「ペアスイッチまたはリセットスイッチ」(図16、項目3を参照)を3秒間押し、PINをリセットします。H-DオーディオアプリのBluetooth Dongleに再接続し、新しいPINを設定します。

1. **Unresolvedgraphiclink(id=39810-100120)** オーディオシステムへのアクセス。
 - a. デバイス(1)とシステムをペアリングします。
 - b. アプリメニュー(2)にアクセスして、車両のサウンドシステムを設定します。
2. **Unresolved graphic link(id=39810-100121)** メインメニュー画面。
 - a. メインメニューアイコン(1)。
 - b. セキュリティ用の個人識別番号(PIN)(2)をリセットまたは変更します。
 - c. システム(3)の編集および名前の変更を行います。
 - d. メインメニューをバイクの写真(4)を使用してカスタマイズします。

- e. Bluetooth接続インジケータ。インジケータ上にスラッシュが表示されている場合: 接続なし(5)。
3. **Unresolvedgraphiclink(id=39810-100122)** 設定メニュー画面。
 - a. メニューアイコン(1)を設定します。
 - b. iSheetのQRコード(2)のスキャンに使用します。
 - c. Stage 1または2スピーカー、スピーカー位置、およびスピーカー位置割り当てのためのホワイトノイズを手動で設定します。
 4. **Unresolvedgraphiclink(id=39810-100123)** イコライザー設定画面。
 - a. イコライザー設定アイコン(1)
 - b. 7バンドイコライザー(2)の周波数を調整します。
 - c. イコライザー選択内容(3)をカスタマイズまたはプリセットします。
 5. **Unresolvedgraphiclink(id=39810-100124)** 診断メニュー画面。
 - a. 診断メニューアイコン(1)に、サウンドシステムのステータスが表示されます。
 - b. スピーカーのテスト画面(2)を開きます。
 - c. コンポーネントの修理後に、スピーカーおよびアンプのステータス(3)を更新します。
 - d. ホワイトノイズ(4)と動作をテストするスピーカーを選択します。

- e. 診断メニュー画面(5)に戻ります。

完成

1. フレームマウントフェアリング：
 - a. スピーカーグリルを取り付ける。
 - b. アウターフェアリングを取り付けます。
2. フォークマウントフェアリング：
 - a. ウィンドシールドを取り付けます。
 - b. アウターフェアリングを取り付けます。
 - c. ダッシュパネルを取り付けます。
3. ロアバックボーンキャディを取り付ける。
4. トップキャディを取り付ける。
5. 左側キャディを取り付ける。
6. フューエルタンクを取り付けます。
7. シートを取り付けます。
8. メインヒューズを取り付ける。
9. サイドカバーを取り付けます。
10. サドルバッグを取り付けます。